



にかほ 市議会だより



9月定例会

平成 19 年度各会計決算・平成 20 年度各会計補正予算	2
一般質問	3
議会活動	8
質議・討論	10
陳情、請願、決議、意見書	12
委員会審査報告	13

(稲倉山荘から頂上を望む)

9月定例会

平成19年度各会計決算が認定されました

第8回9月定例会は、9月4日から24日まで21日間の会期で開かれ、平成19年度の各会計の決算や平成20年度一般会計補正予算をはじめ、議案31件が提出されました。

決算及び補正予算については、特別委員会に審査を付託し、最終日の本会議において委員長報告があり、決算9件、補正予算9件が原案のとおり認定、可決されました。

このほか、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、4人の方に顕彰を授与すること等8件、条例制定について4件、市道路線認定1件が同意可決されました。

平成19年度各会計の決算と平成20年度各会計の補正予算については、次の表のとおりです。

※決算の単位は「円」、補正予算の単位は「千円」ですのでご注意ください。

平成19年度 一般会計・特別会計決算

(単位:円)

会 計 別		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
一 般 会 計		15,259,026,749	14,948,481,339	310,545,410
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,314,283,648	2,928,578,532	385,705,116
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	185,586,564	169,392,867	16,193,697
	老人保健特別会計	3,102,243,416	3,132,725,606	△ 30,482,190
	簡易水道特別会計	88,470,884	85,464,781	3,006,103
	公共下水道事業特別会計	1,987,948,288	1,960,700,096	27,248,192
	農業集落排水事業特別会計	508,402,674	497,178,555	11,224,119
	計	9,186,935,474	8,774,040,437	412,895,037
合 計		24,445,962,223	23,722,521,776	723,440,447

※老人保健特別会計の歳入不足額は平成20年度の歳入を繰上げて充用しています。

事 業 別		項 目	収 入	支 出
企 業 会 計	ガス事業	収 益 的	383,560,281	585,316,799
		資 本 的	9,737,450	106,548,613
	水道事業	収 益 的	463,562,526	439,425,023
		資 本 的	251,170,570	514,869,976

平成20年度 一般会計・特別会計補正予算

(単位:千円)

会 計 別		既 定 額	今回補正額	合 計
一 般 会 計		14,496,764	157,959	14,654,723
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,031,701	73,049	3,104,750
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	98,644	3,675	102,319
	老人保健特別会計	311,675	17,520	329,195
	簡易水道特別会計	62,183	-	62,183
	公共下水道事業特別会計	1,788,937	6,196	1,795,133
	農業集落排水事業特別会計	428,881	3,652	432,533
	計	5,722,021	104,092	5,826,113
合 計		20,218,785	262,051	20,480,836

事 業 別		項 目	既決予定額	今回補正予定額	合 計
企 業 会 計	ガス事業	収益的支出	652,044	△ 3,354	648,690
		資本的支出	178,976	223	179,199
	水道事業	収益的支出	475,675	△ 4,826	470,849
		資本的支出	592,342	29,911	622,253

9月定例会 一般質問



佐々木正勝 議員

日沿道建設に伴う 農業用水路について

質問 早期に象潟・仁賀保道路が建設されることを望んでいるが、予定路線内には既存の農業用水路があります。完成後、農家・水利組合団体等とのトラブルを防ぐ為、担当課が調整役となり問題が発生しない様努めるべきと思いますが対応について伺います。

建設部長 都市整備課が窓口となり国交省・地元地権者・組合と一緒に協議し、工事中・完成後もトラブルが生じない様に努めてまいります。

地球温暖化防止実施の進捗状況

質問 地球温暖化防止実行計画を策定以来、計画書に掲げる現時点での具体的な取り組みを進捗状況と計画に対して改善を要する事項があるのでしようか。又、市内小学校における取り組みはどの様になっていますか。
市長 24年度までCO₂排出量を7%削減の計画です。計画推進会議を定期的開催し取り組んでいます。4ヶ月間の実績で27%

削減しています。4半期ごとの推進会議で改善事項を決定しています。当該年度の取り組み実績を翌年6月に公表します。子供達の環境保全に対する実践意欲を一層高められるように取り組みます。

漁港関連道路の 末端排水路改良について

質問 金浦地区まちづくり計画に川尻・竹嶋潟線の冠水対策工事が計画されているが、末端海岸出口改良を計画内で実施できないものか伺います。
市長 末端部は県管理の漁港海岸の為、県と十分相談します。

子ども農山漁村交流 プロジェクトについて

質問 力強い子供の成長を支える教育活動として当プロジェクトが推進されていますが、市の対応はどの様になっていますか。
市長 市としての役割がどうあるべきか、実現に向け検討してまいります。

地域振興局の統合再編問題について



竹内 賢員 議員

質問 2009年度からの統合再編の計画に対してどの様に考えていますか。
市長 統合再編については、不透明な点も多く、多方面にわたり連携が後退する懸念がある為、どちらかといえは反対であります。

質問 由利地域振興局が果たした業績・権限を持った組織機構としてどの様に評価していますか。
市長 環鳥海地域の連携・広域的な観光圏の形成・県立大学を核とする産学官連携による地域産業の振興・由利ブランドの形成による農林水産業の振興等、支援や施策遂行に大きな役割を果たし、大変頼りがいのある組織です。

質問 再編後、どの様に対処する考えですか。
市長 対応が後退する懸念もありませんし、緊急時の迅速・適切な対応ができるのか大変不安であり、時間的・経費的にも負担が強いられると思われまます。県議会の決着を注視してまいりたいと思えます。

質問 道州制についてどの様に考えておられますか。
市長 制度の良否や導入の有無については軽々に判断するものでなく、国民的な議論の深まりがまだまだ必要であると感じています。

**にかほ市図書館
整備計画について**
質問 図書館利用サービス網の整備計画スケジュールの進行状況はどの様になっていますか。
教育長 具体的に内容を説明できる状況に至っておりません。
質問 象潟地区地域図書館・釜ヶ台地区に図書館分室・図書専任職員配置に関しての検討内容はどの様になっていますか。
教育長 象潟地域の整備は宝くじ事業を活用したいと考えています。専任職員は厳しい状況であります。

一般質問



佐藤 文昭
議員

指定管理者制度について

質問 市の公共施設については住民サービスの向上、経費節減等を図るため民間委託の推進を行い事務事業についても業務委託が可能な場合、積極的に指定管理者制度に移行するとしていますが現在の状況について伺います。

市長 公共施設169のうち、H21年までの5カ年計画の中で24施設を指定管理者制度に移行、8施設を廃止、計画の24のうち、温泉保養センターはまなすは、にかほ市観光株式会社、象潟ねむの丘は財団法人にかほ市開発公社に指定管理者制度を適用し管理・運営を行っています。

質問 はまなすとねむの丘が指定管理者制度に移行し、その制度導入による成果について伺います。

市長 指定管理者として自主独立を目指す経営戦略を積極的に立案する姿勢が強く感じられ、今後一層期待しています。

質問 市の公共施設の中で、レ

クリエーション、スポーツで29産業振興で2、生活基盤で56、文教で14、医療・社会福祉で8その他で26、合わせて135施設は、現状維持として市直営となつていますが、今後の方針について検討されていますか。

市長 行政改革大綱、集中改革プランの目標達成に向けて早急に方針を定めていかなければと考えております。

質問 食育の推進について伺います。

市長 地産地消の推進や食料自給率を高めるため総合的な計画として取り組めます。

教育長 学校給食用農産物について、年間の野菜は5万8410kg、果物が6933kg、大豆が1万493kg、米が2万5585kgです。地産地消の現状として学校給食率は43・6%で、秋田県の平均は26・9%です。



スポーツ振興と鳥海山で地域おこしについて



佐々木 平嗣
議員

質問 国体、オリンピックク、プロを目指す選手の育成について市の対応は。

市長 特別な協議の選手やプロ選手を目的に選手育成は考えておりません。

質問 高齢化社会の健康スポーツについて伺います。

市長 高齢者の皆さんに、社会参加や仲間づくり、スポーツを取り入れた健康づくりということ、一人でもできる体操や筋力向上トレーニング、ウォーキングなどを進めています。

質問 メタボリックシンドロームについて市の対策について伺います。

市長 食生活の見直しと運動を組み合わせた個々のプログラムを作成し、特定保健指導を強化してまいります。

質問 旧象潟中学校体育館をドーム型スポーツ場にして使うことができないでしょうか。

教育長 S36年に建設されS60年に大規模改修をしているものの47年を経過し、危険校舎改築事業として取り壊しの要件で、国からの安全・安心な学校づくり交付金を受けて建設したもので、改修してそのような施設にする考えは持っておりません。

質問 鳥海山ナンバープレートについて、市の観光PR活動として声や手を上げませんか。

市長 構造改革特区要望により、1年を経て導入が可能となりこの秋から順次受け付けをすることになりました。鳥海山ナンバーは関係自治体と協議しながら可能なかどうか、これからの課題だと思っております。



旧象潟中学校体育館

9月定例会



池田 好隆
議員

合併に伴う重複施設の 統廃合について

質問 平成の大合併が進み、施設の有効利用、相互利用を考慮し統合整備を基本とするとありますが、その推進は遅いように感じられます。各地区の特性を生かした有効利用、効率的な行政運営にはスピードアップが求められています。施設の統廃合についてどう認識しているか伺います。

市長 合併協定項目、これにしっかりと対応しながら、これからさらにスピードを上げて取り組んでまいります。世論調査でも残念な結果が出ていますが、これは我々行政もまだまだ説明不足かなと思っています。今後、組織をあげて一生懸命市民の皆さんに合併の効果についてのPRにつとめてまいりたいと考えています。

質問 平成の大合併が進み、施設の有効利用、相互利用を考慮し統合整備を基本とするとありますが、その推進は遅いように感じられます。各地区の特性を生かした有効利用、効率的な行政運営にはスピードアップが求められています。施設の統廃合についてどう認識しているか伺います。

市長 広域連合や市町村でのPR、またマスコミにも大きく取り上げられ、いろいろ議論されたところでは、医療サービスについて当初、報道機関等で低下などが報じられましたが、実際のところ受けられる医療に相違はありません。

市民部長 保険料は、にかほ市の場合均等割が4万1、300円、所得割が8%であります。8月1日現在加入者は、4、270人です。このうち軽減措置をうけている方は、3、080人で全体の72%に当たります。

質問 公共工事の発注状況について、特に業界の振興、産業育成、分離分割発注方式の導入について伺います。

市長 地元企業の発注機会をふやすために工事別、工区別に分割発注し受注機会を与える様にしていきます。振興については、現在360人ほど働いていますが、引き続き優先的に指名してまいりたいと考えています。

地球温暖化防止対策について



本藤 敏夫
議員

質問 太陽エネルギーや風力エネルギーなどの活用について伺います。次に二酸化炭素排出量の削減の周知撤退を図り、防止対策に本腰を入れる意味で「地球温暖化防止都市宣言」する事について市のお考えを伺います。

市長 新エネルギーの導入は、市としても推進していかなければならないと考えていますが、財政的な負担などを考慮しながら、導入のメリット・デメリットなどを検討し施設整備については、その方向性をまとめていきたいと思っています。また、現在地球温暖化対策地域協議会を21年度の設置に向けて検討委員会の立ち上げ作業を進めています。都市宣言については、この協議会において十分検討をしてまいりたいと思います。

質問 ケーブルテレビシステムに向けた調査研究はなされたことがあるかどうか、また平成に合併した市町村の多くが行政サービス、行政情報の共有という意味で、多くの市で調査に入ったり、エリアを拡大したり、新規に取り組もうとする市が多いが、当市で取り組む考えはないですか。

市長 ケーブルテレビシステムは議会の中継や行政情報の周知などに大変有効であると、承知しております。しかし地方においては集落が点在しているのが、導入費用及び維持管理費用が相当かさむことが予想され、有効的であると考えられるのは都市部だと思っています。現在導入について調査研究はしておりませんが、当市の情報化の取り組みとして、NTTに対して積極的要望活動を展開し光ケーブルについてはかなりカバーできるようにになり、地デジ移行に関しても、NHKを始め放送事業所に対しても要請している所です。そして調査に基づいて情報の格差が生じないように整備に努めてまいりたいと考えています。

一般質問



市川 雄次 議員

市の住宅政策について

質問 国は自らの財政確保の為地方に対し自立の方向性を求めています。住宅政策においても縮小の為、自ら保有していた賃貸住宅ストックを市町村に譲渡し、大幅削減をしようとしています。市は過去からの住宅政策の課題を山積みになっているが、住宅政策にかかる基本的な方針を伺います。

市長 市民のニーズを的確に把握し、質の高い住環境を備えた公営住宅の整備を進め、安全確保を第一とし、自然環境、生産環境、生活環境の保全に配慮しながら住宅地の土地利用を進めます。総合発展計画と整合性を図りながら住宅マスタープランの策定を進めていきます。

民間部門を活用した住宅ストックの整備について
質問 住宅政策におけるストックの形成について、全て行政が整備しなければならぬか疑問が残ります。既存の市営住宅は遠くない将来、大規模修繕、も

しくは廃止の選択が迫られますが今後の住宅政策の見通しと考え方を伺います。

市長 市が直接建設する方式、民間アパートを借上げる方式、PFI方式による買取がよいか、将来的な財政負担を含め今後の課題と考えております。

中古住宅に対する取組みについて

質問 「にかほ市空家情報登録制度」について説明があったが宅建法などのからみもあり、行政がどこまで関与できるのか、より大きな効果をもたらす為に取組みの詳細について伺います。

市長 「ふるさと回帰フェア2008」でのかほ市の紹介や、「Aターンプラザ秋田」の開催で秋田の情報提供や相談を受けています。

※PFI制度とは？「プライベート・ファイナンス・イニシアティブ」公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方法。

災害対策について



市川 雄次 議員

質問 8月21日の大雨により冠水した鈴鳥森地区と同じような地域があると思うが具体的防災計画はありますか。

市長 市の中で6箇所あります。鳥森川周辺・前谷地、金浦竹島潟国道7号バイパス下、金浦赤石J.Rのガード下、金浦岡の谷地、象潟前川沿線、象潟武島地内です。現在具体的な防災計画はありません。

質問 昨年の応急対策の効果を確認しましたか。

市長 鳥森川側壁からの越水は無かったが住宅の側溝に川から逆流し排水出来ませんでした。

質問 抜本的対策で排水路をつくり、ポンプアップする話は実現可能ですか。

市長 海抜が低いので、排水を分散する対策が必要と考えます。今具体的

な排水の調査を始めたところですよ。

質問 住民に対して説明の必要はありませんか。

市長・建設部長 説明されていないとしたら大変申し訳ない。これまでの経過と今後の方針も含め説明したいと考えています。

環境管理について

質問 ゴミの不法投棄について市として具体的な対策はありますか。

市長・市民部長 大変頭の痛い問題であります。現在10名の監視員を委嘱しパトロールやゴミの回収をやっていますが特効薬はありません。パトロールの結果、鳥居のあるところにはゴミが少ないという話があり、現在2・3箇所仮設置し効果を見っております。

質問 表示板や看板が正しく表示されていますか。またどのように管理されていますか。

市長 文字がかすれたり腐食したり看板としてふさわしくないものは見直し、危険防止と環境美化に配慮し管理してまいります。国県の管理下にあるものは見直しを要請してまいります。

9月定例会



村上 次郎 議員

諸物価高騰への 対策について

質問 諸物価高騰をどう考えていますか。

市長 石油製品のみでなく、市民生活や企業活動に影響を与えていることは深く認識しています。食品価格、生活必需品価格も上昇しており、生活防衛意識がさらに高まっているものと考えております。

質問 高騰を抑えるためには、どうあるべきか伺います。

市長 省エネ、脱石油の技術開発、自然エネルギーへのシフトあるいは地産地消、食料自給率を高める対策等、国民的総意の中で取り組む必要が大切だと思います。

質問 国、県に対して支援策を要請すべきと思うがいかがですか。

市長 全国市長会は原油価格高騰対策を要望してきましたが、8月8日政府に高騰対策の充実を求める緊急要望書を提出したところであります。

質問 雇用促進住宅の廃止又は譲渡する理由はどこにありますか。

市長 17年の規制改革、民間開放推進会議の二次答申、閣議決定では、民間事業者等のノウハウを活用し、収益の最大化を図り入居者がいることを踏まえた上で、早期に廃止するとしています。

質問 入居者への説明はどのようなっていますか。

市長 機構側では、廃止の意向を通知で周知しています。市としては、機構側との協議や内部協議を経て、議会の同意を得ながら説明会を開催したいと考えています。

質問 アンケート調査結果について教えてください。

産業部長 現在80戸のうち入居可能数は79戸です。7月11日現在で入居戸数が61戸です。アンケート配布61戸のうち回答戸数が41戸で67・2%の回答率です。この問いについては、「現状の設備、環境で今後も住みたい。」28戸。「10年内で他の施設に移りたい。」9戸。「今、他の市町村に転出を考えている。」2戸です。

後期高齢者医療制度について



佐々木 弘志 議員

質問 この制度については、いかなる改正がいつから、だれを対象に措置されるのですか。対象者は何人で、その総額は幾らで財源は、どうなっているのですか。

市民部長 保険料の見直しを行なっているものです。内容は基礎年金暮らしの低所得世帯については、均等割の軽減が図られています。20年度は従来7割軽減の方が8.5割軽減となりました。21年度には、7割軽減されている世帯のうち、年金収入が80万以下の場合には9割軽減する。2つ目は、所得割額を負担している方のうち基礎控除額後の所得額が58万以下の方、年金収入では15.3万から21.1万までの方が、20年度は所得割額が5割軽減となります。21年度は年金収入に応じて10割から2.5割の軽減を行なう

としていきます。対象者は7割から8.5割軽減となった方が1、261人で額は724万1、096円となります。5割軽減となった方が242人で額は984万2、210円となります。この数字は、総数の中から6月12日の見直しによる軽減額を抜き出したものです。保険料の減収部分については、すべて国の財源で、広域連合に財政調整交付金として交付されます。

質問 高齢者に対する市長の考え方を伺います。

市長 高齢者の定義ですが、世界保険機構(WHO)では、65才以上の方を高齢者としているようです。一般的に高齢者の皆さんの多くは、知識と経験が豊富で熟達していますし、学ぶべきこともたくさんあると共に、後世に伝えるべきこともあると思います。65才以上の方で、要支援、要介護の認定を受けてない元気な高齢者が6、700人以上いるわけですが、今後もちづくりのパートナーとして大きな期待をしているところであります。そして高齢者の皆さんを敬愛し、行政も含め社会全体で支えていくことが大切であると思っております。

一般質問



小川 正文
議員

農林業について

質問 林業は木材を生産するだけでなく、洪水を防ぎさらには住民や水田に水を安定的に供給すると共に空気の浄化や、レクリエーションの場を提供するなど、さまざまな機能を有しています。秋田でも本年度、水と緑の森づくり税を創設して森林を含めた秋田の山全体を環境整備しようとしております。国でも今年度500億円を超える予算を計上しております。民有林の補助金について伺います。

市長 林業においては持続可能な森林経営を推進するために森林の適正な整備や木質資源の有効活用などの積極的な取り組みが求められているところです。にかほ市においては、森林の適正な管理の促進と未整備森林の増大を防止するために、民有林の除伐や枝打ちあるいは間伐等の保育事業に対して国、県が定める事業費の10%以内を森林所有者に森林組合を経由しながら、かさ上げ助成をおこなっているところがございます。19年

度は311万円を交付しておりますが、引き続き財政事情を考慮しながら支援を行ってまいりたいと思っております。

質問 にかほ市で集落営農組織又認定農業者の面積と、その実数について伺います。

産業部長 本年度新たに設立した集落営農組織は2組織で昨年からの加入の組織と合わせて27組織が本年度の安定対策に加入しており加入面積の合計は1、558ヘクタールとなっております。これらの経営形態ですが、27組織のうち11組織が地域の合意形成による特定農業団体と位置づけられております。また、現在のところ法人組織はなく、すべて任意組織であります。個人の認定農業者については本年度新規に加入された方は、市町村特認制度の対象14人を含めまして23人で、昨年からの加入と合わせて171人となっております。その加入面積は1、019ヘクタールとなっております。

議会活動

年月日	行 事	場 所 等
H20. 8. 8	産業建設常任委員会	象潟庁舎
8.19~8.20	東北日本海沿岸市町村議会協議会総会	市 内
8.21	議会運営委員会	象潟庁舎
"	第7回臨時会	"
8.22	各期成同盟会 県内要望活動	由利本荘市、秋田市
8.25	各期成同盟会 中央要望活動	宮城県仙台市
8.26	各期成同盟会 中央要望活動	東京都
8.28	議会運営委員会	象潟庁舎
9. 1	国道7号線下浜道路建設促進期成同盟会 中央要望活動	宮城県仙台市
9. 2	国道7号線下浜道路建設促進期成同盟会 中央要望活動	東京都
9.4~9.24	第8回定例会	象潟庁舎
9.29	鳥海山の森林、自然環境視察研修	市内（中島台）
10. 1	にかほ市誕生3周年、象潟中学校竣工記念式典	市 内
10. 6	議会広報編集委員会	象潟庁舎
10. 8	愛知県吉良町議会行政視察	市 内
10.16	北海道由仁町議会行政視察	"
10.20	議会広報編集委員会	象潟庁舎
10.23	東京都日の出町議会行政視察	市 内

8月19日
『東北日本海沿岸市町村議会
協議会総会』がにかほ市で開
催されました。

この協議会は、日本海沿岸東
北自動車道の早期完成と羽越本
線の整備促進、高速化推進の早
期実現を目的に、平成12年から
活動を行っています。この協議
会は、新潟県・山形県・秋田県
の沿線市町村の9市5町村で構
成されています。総会では、各
県の取組み状況の報告や中央要
望活動について協議しました。
また、秋田県や国土交通省秋田
河川国道事務所長などへ要望書
を直接提出して、早期完成を要
望しました。出席者は63名で、
総会後は秋田大学教授の渡辺英
夫氏による講演（「北前船」か
ら展望する地域の発展と交通体
系）が行われ閉会しました。



9月29日
にかほ市林活議員連盟による
森林、自然環境研修が行われ
ました。



にかほ市林活議員連盟は、議
員24名全員で構成され、厳しい
状況が続く森林・林業について
の支援や森林資源の循環利用等
により温暖化防止対策を推進す
ることを目的に結成されました。
昨年「森林機能の発揮と
行政の役割」について、秋田県
森林組合連合会の阿部会長の講
演を聴きましたが、今回は身近
な森林資源、豊かな環境資源を
持つ鳥海山で研修を行いました。
今後も、森林・林業・林産
業について活動を継続してい
きます。

行政視察に3議会がにかほ市
議会を訪れました。

10月8日
愛知県吉良町議会
10月16日
北海道由仁町議会
10月23日
東京都日の出町議会

7月には愛知県岡崎市、10月
には、3つの町が行政視察に訪
れました。吉良町と由仁町は主
に合併について研修しました。
担当者の説明後、本市の議員へ
の質疑や意見交換が活発に行わ
れました。また、日の出町は国
体についての研修を行い、仁賀
保グリーンフィールドとTDK
のサッカー
場を視
察しまし
た。



9月24日
議会活性化等協議会が設置さ
れました。

9月定例会最終日に、議会
活性化等協議会が設置されま
した。この協議会は、議会運
営等の協議、調整等を目的に
21年3月31日までの活動期間
です。

議会活性化については、こ
れまで議会運営委員会で協議
し、多くの課題を解決してき
ましたが、新たに専門の協議
会を設置して会派制や一層の
活性化が図られるよう将来に
向けての検討協議を行うこと
になりました。この協議会の
委員の方々は、次のとおりで
す。

議会活性化等協議会
委員長 村上 次郎
副委員長 佐藤 元
委員 飯尾 善紀
委員 市川 雄一
委員 宮崎 信昭
委員 佐藤 文知
委員 伊藤 平嗣
委員 佐々木 甚一
委員 池田 敏夫
委員 本藤 敏夫

平成19年度一般会計決算・平成20年度補正予算について

議案質疑

19年度一般会計決算

認定について

質問 にかほ市の財政は健全であると考えてよいのか。

答弁 健全化比率等の状況をみても健全な財政状況と判断しております。

質問 不要額の主な原因と特徴的なものはあるのか。

答弁 委託料や工事請負費について請負差額によるものと、全般にわたり経費の節減に努めた結果と考えております。

健全化比率及び資金不足

比率の報告について

質問 算定基礎書類の備付けの義務が課せられたが、どのように公表する考えなのか。

答弁 10月1日号の広報及びにかほ市ホームページで行なう予定としております。

20年度にかほ市一般会計

補正予算について

質問 高齢者ボランティアが30チームあるようだが、その組織はどのようなものか。

答弁 高齢者の除排雪の活動を

を支援するもので、支援チームは自治会を中心をお願いしております。

質問 唐戸大橋は19年9月定例会では、幹線道路であり架け替えは極力避けたいとしていたが今回変更された経過について。

答弁 委託コンサルタンの詳細にわたっての調査の結果13年度調査時点より劣化が進行し、補修工事費と架け替え工事費と大差がないとのことで、長寿命化計画に変更すると判断したものです。



平成19年度竣工 象潟中学校

討

論

「陳情第13号 議員報酬引き下げ（平成20年3月21日議決前に戻す）を要求する陳情書」について

反対 18番 斎藤修市議員

議員報酬の引き上げは3町合併時の申し合せ事項であり平成17年の合併時に速やかに実施されるべきであったと思います。しかし当局は平成20年度近隣類似市との関連を見て、特別職報酬等審議会に諮問して可決を見ました。適正な報酬額を次世代の人たちに引き継いでいくことが私達議員の責任であると思います。議論を重ね、行動に移すことも視野に入れて反対の討論とします。

反対 8番 小川正文議員

一つは議員の報酬は新市において新しく定めるといふ合併協議会の合意事項があり、特別職報酬等審議会で新しい報酬が妥当であると答申されたこと。二つ目は社会的、地域的、人口的に議員活動が広範囲に広がっていること。三つ目は旧3町では48名の議員を24名にし、財政的にも相当の削減をしていること。

と。四つ目は次回選挙から定数20名で行うことなどであります。議員報酬とは本来景気よければ上がる懸ければ下げるといふものではありません。

反対 7番 佐々木正明議員

この陳情は3月定例会と5月の臨時議会で慎重審議され、既にかほ市議会としての結論が出ているものであり、行政には一貫性、継続性が求められることから反対であります。議員定数についても半年以上前から見直しを議論し、20名に削減することも決めております。又諮問案より2割以上の削減する提定も可決しています。また監査委員、教育委員等の報酬も類似市に近づける為引き上げ可決決定もしています。引き下げに対する活動の方々は、真剣に取り組む方が大部分だと思えますが、中には誹訪中傷の怪文書を配布したり賛成した議員の回りに嫌がらせの電話をかけたたり、個人攻撃のような行動もあり、このような行動は良識ある市民を巻き添えにすることになり認められませんので、適切な判断の一部としていただくようお願いいたします。反対討論といたします。

陳情13号 議員報酬引き下げを要求する陳情書について

反対 6番 佐藤文昭議員

今回の議員報酬改定では原案については、市の財政事情と市民感情や社会情勢を考慮して議会として修正案を提案し、3月定例会、5月臨時会で決しておりにかほ市議会では結論を出しているものです。議員報酬を改定するときには市の財政力もありませんが、数値を見ても市の財政力は健全であると考えます。議会においても行政のスリム化、効率化、合併効果を生かし、財政の合理化などについて日々十二分に調査、審査をしているところであります。市議会では、二度の結論を出していることから反対討論といたします。

反対 21番 本藤敏夫議員

これまでと若干視点が変わりますが、本陳情に対する反対討論をしたと思います。この陳情書の採択、不採択も決まらないうちに、陳情者は別の行動を既に起こしております。この陳情書がそれではどういう意味を持つのか疑問があります。3月と5月の本会議で既に議員の意思は決定されているものだという認識に立っております。このようなことを何回も繰り返す事が果たしてにかほ市がよくなるのでしょうか。それこそ議会制民主主義の根幹にも影響を及ぼすものと感じます。我々自身の手で本問題に決着をつけるという立場をとる為に、あえて反対の討論とします。

合併してしままだに旧3町の事業がほとんどそのまま施行されております。少なくとも当局から議員への案内は旧町時代の倍以上にあり、付託された事業以外にも誠心誠意義務を果すべく行動していることを市民の皆様には御理解をしてもらいたいと思います。

反対 5番 宮崎信一議員

陳情書の中に「議会制民主主義の根幹に反する」という文言、私はまさに当市議会への冒瀆であり、まことに遺憾に思います。3月定例会から幾度となく委員会、全協等で議論を重ねてきたことは広報、ホームページ等で明白であります。また本議場から退場者が出ていることも悲しく思います。以上のことから反対討論とします。

賛成 16番 竹内賢議員

この問題の大前提として、市民と議会は対立するものではなく、議員は市民の信頼と付託に応えるために活動することです。しかし、この報酬引き下げについて市民から一連の陳情や直接

行動は、施策に対するものではなく議員報酬という問題であり、信頼関係がないのかと残念であり、不幸なことであると思えます。合併後1期目の議会であり、基礎を作るためにやるべき事が山積みしています。次期改選からは、議員定数が20名に減ることが決まっております。「改選後の平成22年5月からこの引き上げた議員報酬を適用する」ということを一案とする考え方もあって、この陳情を採択することに賛成します。

賛成 12番 村上次郎議員

これまでも、議員報酬引き下げについては慎重であるべきとして、引き上げには反対してきました。財政状況については、県内で比較すると安定した状況にあります。象潟中学校を建設し、今仁賀保統合中学校建設に着手しています。このことは、市当局の頑張り、納税者の支えということもあり財政状況の良さ悪しの問題ではないと思えます。この問題は、少し時間をおきながら、竹内議員の考え方も含めて、もう一度どうあるべきか考え直していくことも必要と思えます。市民を含めた公開討論、市政説明会、議会との懇談会等により精神的なねじれ

をときほぐす必要があると考え採択に賛成します。

賛成 14番 佐々木清勝議員

議員報酬の問題については、終始一貫して値上げ反対の立場で議論してきました。昨年まで総務委員でありましたが、この件については24人の市議会議員の社会で論ずるのか、2万9千人の市民社会で論ずるのかをわきまえるべきと言ってきました。混乱した時は原点に戻るべきという言葉があります。大きな困難を乗り越えて、24名の定数ではないことは、非常に残念であります。ここは、原点に戻り議員定数が20名になった時点から新たな視点で、議員報酬を構築すべきだと思います。地域のリーダー・住民の代表として、議員・議会自らが一つの方向性を示すべきであり、議員として確固たる哲学を示して頂きたく賛成の意見とします。

この陳情第13号は、9名の議員により活発な討論が行われました。討論終了後、直ちに採決され、結果「反対多数」により「不採択」に決しました。

陳情、請願

陳情 の 件 名	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	結 果
後期高齢者医療制度中止・撤回の意見書採択を求める陳情書（継続審査中）	秋田市中通6-2-1 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡 辺 淳	教育民生	継続審査
地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する請願書	由利本荘市瓦谷地1-2 連合秋田本荘地域協議会 議長 佐々木 光 雄	総 務	採 択
「地方消費者行政の抜本的拡充及び法制度の整備等を求める意見書」の採択等を求める陳情書	秋田市山王6-2-7 全国市議会議長会 会長 藤 田 博 之	総 務	採 択
議員報酬額引き下げ（平成20年3月21日議決前に戻す）を要求する陳情書	にかほ市象潟町字二丁目塩越37 にかほ市を良くする会 会長 國 松 東一郎	本会議で審議	不採択
原油・肥料・飼料高騰並びに国産農畜産物増産・自給率向上に向けた要請書	由利本荘市荒町字峙台1-1 秋田しんせい農業協同組合 代表理事組合長 阿部和雄 他1名	産業建設	採 択

請 願 の 件 名	請願者の住所及び氏名	紹介議員	付託委員会	結 果
米価の安定と生産調整に関する請願（継続審査中）	秋田市中通6丁目7-36 農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	村上次郎	産業建設	不採択 (第7回臨時会 8/21に審議)
社会保障関係費の2200億円削減方針の撤回を求める意見書採択に関する請願書	由利本荘市瓦谷地1-2 連合秋田本荘地域協議会 議長 佐々木 光 雄	竹内 賢	教育民生	採 択
生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書採択に関する請願書	由利本荘市瓦谷地1-2 連合秋田本荘地域協議会 議長 佐々木 光 雄	竹内 賢	教育民生	採 択

決議・意見書

次の件について決議し、意見書については関係機関に提出しました。

- ・事務検査に関する決議について
- ・にかほ市議会会議規則の一部を改正する規則制定について
- ・地方財政の充実・強化を求める意見書
- ・地方消費者行政の抜本的拡充及び法制度の整備等を求める意見書
- ・社会補障関係費の2200億円削減方針の撤回を求める意見書
- ・生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書



委員会報告

教育民生常任委員会

今定例会において、当委員会に付託された議案内容は、平成19年度一般会計、特別会計の決算認定、平成20年度一般会計、特別会計の補正予算と請願2件であります。

当委員会が所管する市民部、健康福祉部、教育委員会は、市民生活に最も身近に関係して行く行政であり、19年度決算においては、福祉や教育、あるいは市民の安全、安心な生活環境の整備に概ね有効的に使用されている決算内容であると認定しております。

ただ、19年度決算の中で、国民健康保険税では、不納欠損額や収入未済額が多く、年々、増加傾向にあるということで市として解決にむけての対応を強く要請しております。

国保会計については、世帯数5、344世帯、被保険者数1人当りの医療費は、仁賀保地区が429、437円、金浦地区459、890円、象潟地区458、215円となっております。

又、人間ドック助成金につい

ては、仁賀保206件、金浦17件、象潟275件で全体で257万円弱となっております。

補正予算については、フェライト子ども科学館リニューアル事業費、高齢者に対する除排雪支援チームへの報償費が計上されていきます。

支援チームは、現在、30チーム結成されています。

除排雪でお困りの場合は自治会長さんを通して担当課にご相談し助言いただきたいと思っております。

教育民生常任委員長

加藤 照美



敬老式（金浦地域）

産業建設常任委員会

産業建設委員会に付託された議案は全て全員の賛成により、可決、認定され、陳情は採択されました。

○議案第96号「市道路線の認定」場所は7号線のガソリンスタンド交差点から院内に向かう宅地造成地内で、業者からの寄付路線です。委員会で見てきました。が、アスファルト舗装されて良好な状態でした。

○「平成19年度一般会計決算認定」及び「平成20年度一般会計補正予算」では「唐戸大橋補修工事」に関心が集まりました。

場所は象潟地区・海岸通りにあり、平成19年度に橋の老朽化により補修工事をめざして業者に252万円で補修設計委託をさせました。その結果「補修工事費は架け替え工事費とそれほど変わらないだろう」との調査結果が出たことから、市では補修をやめて「新規架け替えにする」ことにしました。

委員会では現地を視察しました。コンクリートの剥離があったり鉄筋の露出箇所もありました。また「橋台もずれている」

との説明も受けています。

委員からは「補修をしないことにより、補修設計委託料が無駄になったのではないか」との指摘がなされています。これに対し担当課は「補修設計のデータは、架け替えの際にも使えるもので、生きている」との答弁がありました。また、「国の補助事業の採択を受けるため設計を練り直し、早ければ平成22年度には完成させたい」との説明がありました。

産業建設常任委員長

佐々木正己



唐戸大橋

委員会報告

総務常任委員会

今回は平成19年度決算を中心に条例改正(自治法の改正による字句の改正)4件、陳情2件、補正予算1件の計8件を審査しました。平成19年度決算は、合併3年目を迎え前年対比が明確にできるようになりました。我々総務委員会の関心事は税収の増減や収納率、更に財政の健全度合で、その観点での審査に時間を費やしました。収入率は決して悪い状況ではないと観ておりますが、不納欠損額が前年比42.5万円増となり、事業所の倒産などの要因があるようです。当局でも収納率向上のため収納対策本部を設置し、一定の成果をあげているようです。まだ改善が必要とされる状態が散見され、早急な統一化を指摘する意見が出ております。

財政健全化については、新地方公会計制度導入に伴う行政コスト計算表を含む財務4表を、来年秋までに公表することが義務付けられ、土地などの財産区分の把握に努めているところですので。更に法の改正で、市財政の健全化判断比率及び資金不足比

率の公表(広報10/1号5頁)の件も、その算出方法などを調査しました。

いずれも現段階で、にかほ市の財政は健全状況にあると判断しますが、昨今の経済情勢から地方自治体の安定経営に向け、議会の役割を果たしていかなければならないと考えております。

総務常任委員長

菊地 衛



にかほ市誕生3周年記念式典

編集後記

山々が色づき始めても厚い日が続いています。一日の温度差が激しいので体調には充分お気を付けられますよう…。

米国のサブプライム問題で世界の株価が暴落しております。その影響から企業の破綻がおきています。思い出せばわが国でもバブルがはじけ、えらい目に合いました。その教訓は生かさないもなんでしょうか？

衆議院の解散、総選挙も間近にありそうだし、せわしい日々が続きそうです。

わが市で種苗交換会が始まりました。準備万端。大勢の来客

に期待します。経済効果にも期待です。但し「とらぬ狸の・」にならぬ様。

かしこ

議会広報編集委員会
副委員長 宮崎 信一



鳥瞰嶺から観音森を望む

「議会会議録」をホームページと各庁舎で公開しています。

市議会の会議録を市のホームページと象潟庁舎市民ホール、金浦庁舎玄関ロビー、仁賀保庁舎市民サービスセンターで公開しています。

お気軽にご覧下さい。